

救急救命学専攻1年 伊藤詩実さんと杉本萌恵さん 名古屋市消防表彰式 市長表彰受賞

1月12日、名古屋市公館にて令和6年名古屋市消防表彰式が行われました。この式典に健康医療科学部スポーツ・健康医科学科救急救命学専攻1年の伊藤詩実さんと杉本萌恵さんが出席し、災害現場功労者として市長表彰を受賞しました。

令和5年6月、名古屋市内の駅で心肺停止状態の傷病者に対し、偶然に居合わせた伊藤さんと杉本さんが迅速かつ的確な心肺蘇生を行い、救命に大きく貢献しました。こうした二人の勇気ある行動が称えられ、栄えある市長表彰に至りました。救急救命士をめざす伊藤さんと杉本さんにとって今回の経験は、志を強くし、日頃の学修に一層励む力になっています。



親子食育教室

12月16日、健康栄養学科と愛知淑徳大学健康相談室が共催して「親子食育教室」を開催しました。健康栄養学科の学生による子ども向け調理実習、本学教員も向け調理実習、本学教員による保護者向け講演会、試食会が行われ、地域の小学校3・4年生と保護者の方々15組30人がご参加くださいました。運営の主体を担ったのは、健康栄養学科の学生です。栄養価はもちろん、作りやすさや盛り付けにもこだわったクリスマスメニューを考案しました。当日は子どもたちと一緒に調理し、毎日の食事の大切さや料理の楽しさを伝えました。管理栄養士をめざす学生たちにとって、食育について実践しながら学ぶ貴重な機会となりました。



健康栄養学科 榎ゼミ 愛知時計電機株式会社ヘルシーメニュー提供

健康栄養学科の榎ゼミの3年生8人が、名古屋大学医学部附属病院栄養管理部のご指導のもと、2種類のヘルシーメニューを考案しました。「オートミール入りハンバーグ」が主菜のワンプレート料理と、「ピリ辛台湾まぜうどん」がメインのメニューです。11月と12月には、愛知時計電機株式会社と日本ゼネラル



フード株式会社にご協力いただき、社員食堂で実際にメニューを提供しました。学生は愛知時計電機の食堂で配膳業務に携わり、安全に美味しい食事を提供する食堂運営について学びました。学生考案メニューは社員の方々に好評で、学生は喜びを感じると共に、管理栄養士に必要な専門性や実践力を養いました。

第3回オープンキャンパスに 1544人が来場

※保護者・付添者を除く

9月17日、本年度最後となる「第3回オープンキャンパス」が、長久手・星が丘の両キャンパスで開催されました。

6、7月の開催に引き続き、学内の雰囲気や施設、学びが体感できる機会とあわせてたくさんの方にご来場いただきました。入試相談、学科（専攻）相談、キャンパスツアー、特別企画、学食体験



などに多くの参加者が集まり、大学の雰囲気や身近に感じ、自身の大学生活を思い描いているようでした。また、第2回オープンキャンパスで実施した公募制推薦入試対策講座（国語・英語・小論文）のDVD上映では、前回参加することができなかった受験生を中心に、入試傾向・対策について真剣に耳を傾けていました。

キャリアセンター移転（長久手キャンパス）

長久手キャンパスのキャリアセンターが、10月に2号棟から9号棟へ移転しました。

長久手キャンパスのキャリアセンターが、10月に2号棟から9号棟へ移転しました。これまで以上に利用しやすくなりました。

キャリアセンターはキャリア教育とキャリア支援の両面から学生一人ひとりが自分らしく輝ける道に進めるよう、より充実した施設を有効に活用し、引き続き、キャリアアドバイザーや学生スタッフによるきめ細かいサポートを提供してまいります。



高校秋の文化祭

今年度の文化祭は11月21日にNiterida日本特殊陶業市民会館ヒレツジホールで行われました。発表をしたクラブ(箏曲、合唱、管弦楽、ギター・マンドリン、吹奏楽、演劇、ダンス)それぞれに観客を楽しませる工夫があり、これまでの練習の成果が良く発揮されていたと感じました。このような機会は、学校での普段の

生活とは違う一面を見ることができ、努力の過程をみんなで讃え合うことで、良い集団を形成する一助となります。今回は一部の文化クラブの発表でしたが、これを始めとして他のクラブで努力している生徒にもスポットを当て、お互いを今以上に認め合える集団にしていきたいです。



中学秋の文化クラブ発表会

11月17日、中学校の秋の文化クラブ発表会が本校大アリーナにて開催されました。各クラブ素晴らしい演技・演奏を披露し、日ごろの研鑽の成果を発揮する場となりました。また、大アリーナ入口において、美術クラブ・書道クラブ・イラスト同好会の美しい作品が数多く展示されました。

生徒たちの「格好よく」「真剣で」「教室とはひと味違った」姿に触れて、コミュニケーションのきっかけや、今後の学校生活への刺激となることを願っています。会場のナレーションを放送部が、会場スタッフを文化委員が務め、まさに生徒が創る発表会となりました。



中学校入試説明会・学校説明会

10月21日、今年度の入試説明会(小6対象・学校説明会(小5以下対象)は、ネットでの事前登録はお願いしたものの人数制限をすることなく行われました。同じ日の午前に実施した入試説明会は861人、午後の学校説明会は813人の参加者がありました。入試説明会では、受験間近ということもあり各教科

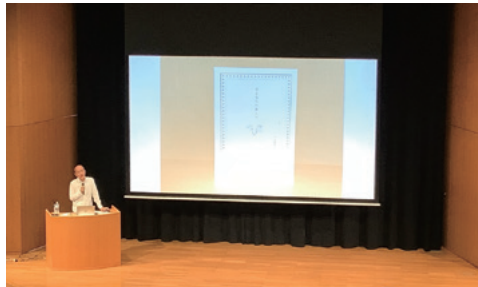
の出題意図の解説に真剣に耳を傾ける受験生・保護者の姿が見られ、それは対照的に学校説明会では各教科の体験授業に目を輝かせて参加する小学生の姿、広い校舎を教員の案内でゆつくり見学する親子の姿が多く見られました。



図書講演会

11月9日記念講堂にて、夏葉社という出版社を営まれている島田潤一郎さんをお迎えして講演会を開催しました。話は言葉をめぐる考察から出版を志すきっかけとなった従兄の死。叔父叔母に一篇の詩を贈るために本作りを志したこと、現在出版されている本についてのお話でした。特に、関口良雄という古本屋の

エッセイ集を出版した際のお笑い芸人である又吉直樹さんとの奇跡のようなエピソードには驚きの声があがりました。「読書は考える体力をつける」「二人、三人の身近な人を助ける人になる」という部分に感銘を受けたという感想が非常に多かったです。本を読むことで、「考える体力」を身につけてほしいと思います。



ホームカミングデー

10月14日、第12回ホームカミングデーが開催されました。従来、還暦を機に同窓生が母校に還る日「ホームカミングデー(還暦同窓会)」として学校と同窓会が共催で実施して参りましたが、コロナ禍によって3年連続中止となり、今年から3年間、2学年ずつ開催します。本年は、中止1年目、2年目に参加予定だった高校

第31・32回卒業生です。当日は卒業生403人、緑のある先生方15人の参加でした。全体会で懐かしい先生方のご挨拶、校歌の合唱、記念撮影の後、普通教室に分かれて、学園70周年記念映画の上映から歓談となりました。準備を重ねられた同窓会役員と同窓生の方々に深く感謝し、この会が今後も続くことを願っています。



淑美展

「淑美展」は愛知淑徳中学校・高等学校の美術部、書道部、写真部の合同展覧会であり、毎年、名古屋市民ギャラリー矢田を会場に開催しています。今年度は11月28日から12月3日まで、生徒がクラブ活動で制作した作品と芸術科の教員の作品合わせて92点を展示しました。会期中、例年より多い3636人の

の来場があり、感想記入コーナーには「どれも素晴らしく、個性溢れる作品だ」と思いました。「写真展、絵画展に行く機会がないので新鮮でした」といったコメントが数多く寄せられました。淑美展が愛知淑徳の芸術文化活動の一環として、今後も発展していくことを願います。



PTA講演会

10月31日にPTA講演会がセンターホールにて開催され、100人を超える方々が参加されました。

今年度は、国際大学GLOCOM客員研究員の小木曾健先生を講師にお迎えし、「正しく怖がるインターネット〜事例に学ぶ情報リテラシー〜」というテーマでご講演いただきました。

インターネットは現代人の生活には欠かせないものですが、その利用によるトラブルも頻繁に起きています。そうしたトラブルを回避し、身を守るための正しいインターネットの利用法について実例を交えながらお話しいただきました。親子で話し合う時に参考となる情報が多く、とても有意義な時間となりました。

